

令和7年度 建設部 行政運営方針

<令和7年度 建設部の使命、目標>

少子高齢化の進行による人口減少、多発する自然災害、都市施設の老朽化など地域の課題への対応が求められている中、計画的な都市基盤の整備や既存の施設の適正な維持管理など地域活力を支える都市環境の維持・向上に取り組むとともに、除排雪や洪水対策など災害への備えを強化し、市民生活の快適性の向上や、安全・安心な暮らしの実現に向けたまちづくりを進めていく。

なお、除雪対策事業については、令和6年度の大雪対応での課題を踏まえ、除排雪体制の充実を検討していく。

① 政策分野 24 公園・緑地

<重点方針>公園施設長寿命化事業

公園施設の現状把握に努めながら、計画的に施設改修を行い、利用者の利便性の向上と安全・安心を確保していく。

<主要事業>

- ・公園施設長寿命化事業 8,900万円（令和6年2月補正額を含む。）（まちづくり整備課）
遊具更新 3公園（つるかめ公園、大川幼児公園、さくら公園）4,100万円
公園改修及び遊具更新 1公園（中央児童公園）4,800万円

② 政策分野 27 治水

<重点方針>総合治水計画の推進

総合治水計画に基づき、雨水幹線や水路の整備といった「流す」対策として、引き続き南四合雨水幹線の整備を推進するとともに、新たに西栄町周辺の浸水被害軽減のため、諏訪2号雨水幹線未整備区間の調査や、応急的な水路整備に着手していく。また、降雨時に適切かつ迅速な水門操作を行うため、老朽化した電動水門制御機器類及びシステム改修を行っていく。

そのほか、昨年度作成した雨水出水浸水想定区域図を基に、大雨に「備える」対策として内水ハザードマップを作成していく。

<主要事業>

- ・雨水幹線整備事業 3億3,200万円（下水道施設課、都市計画課）
南四合雨水幹線の整備推進および諏訪2号雨水幹線の整備に向けた調査の実施
- ・洪水対策事業（電動水門施設改修事業） 1億1,300万円（道路課）
老朽化した電動水門の改修とシステムの更新
- ・総合治水計画の推進 1,062万円（下水道施設課、都市計画課）
内水ハザードマップの作成

③ 政策分野 30 道路

<重点方針> 身近な道路環境の整備・保全

道路パトロールや定期的な点検により道路施設の状況を把握し、舗装路面や橋りょう等の経年劣化による破損等の予防的な補修を行うことで、施設の長寿命化を図り、良好な道路環境を保全していく。

<主要事業>

- ・市道舗装整備事業 6,190 万円（道路課）

市民要望に対応するため、道路改良工事や舗装工事等を行っていく。

- ・道路維持修繕事業 2 億 5,221 万円（道路課）

安全な道路を確保するためパトロールを行うとともに、維持管理に必要な側溝や舗装等の修繕工事、除草等を行っていく。

- ・橋梁長寿命化修繕事業 1 億 2,700 万円（道路課）

老朽化する道路橋等の増加に対応するため、長寿命化修繕計画に基づき、予防的な修繕や計画的な架替えを行い、維持管理コストの縮減と事業費の平準化を図っていく。

④ 政策分野 33 住宅・住環境

<重点方針> 住宅確保要配慮者の居住の安定

近年、市営住宅への入居を希望されている高齢者や障がい者（住宅確保要配慮者）世帯と募集住宅とのミスマッチが生じており、特に高齢者世帯においては、低層階の住宅やエレベーター付き団地の募集が少なく、一部の住宅に申込が集中し抽選となる場合が多いことから、民間賃貸住宅の大家等に家賃低廉化などに係る補助を実施することにより、民間賃貸住宅を活用したセーフティネット住宅の供給を促進し、住宅確保要配慮者の居住の安定を図っていく。

<主要事業>

- ◎セーフティネット住宅供給促進事業 601 万円（建築住宅課）

セーフティネット専用住宅として登録した住宅の大家や債務保証事業者等に対し、家賃低廉化及び家賃債務保証料等の低廉化にかかる費用の一部を補助していく。

⑤ 政策分野 39 まちの拠点

<重点方針> 会津若松駅前の整備検討

主要交通の拠点であり、また、本市の玄関口である会津若松駅前については、交通動線（人やバス、車などの動き）等を整理しながら、駅及び駅周辺施設の利用者などの利便性と安全性の向上に向けた検討を進めていく。

<主要事業>

- ・会津若松駅前都市基盤整備事業 1,723 万円（まちづくり整備課）

駅前公園の花壇等の撤去によって一部フラット化し、イベント等による空間活用を図ることと将来的な駅前周辺の賑わい創出に向けた検討を進めていく。